



古代蓮の里では行田蓮を含む 世界の蓮 42種類

を楽しむことができます

古代蓮の里では、古代蓮池・水鳥の池・水生植物園に咲く約10万株の行田蓮、甲斐姫の他に、公園内南側にある「世界の蓮園」で40種類約2万株、計12万株の花蓮が咲き誇ります。

また、古代蓮会館展示室では20種類の花蓮のレプリカや、22種類の花蓮の特徴を展示しています。



古代蓮の里 行田タワー
ホームページ

世界の蓮の一部を紹介します



原始蓮

植物学者・大賀一郎博士が原始的な蓮として命名



ミセス・スローカム

花卉が70～100枚ある黄紅系で唯一の八重咲種



インド蓮

インド駐日大使から贈られた種子から開花した蓮



千弁蓮

花卉が2,000～3,500枚もあり、自然開花が難しい

田んぼアート情報

行田蓮の開花と合わせて世界最大田んぼアートもお楽しみください



今年の田んぼアートのデザインは、世代を超えて幅広い人気を持つ作品「鬼滅の刃」の主人公 竈門炭治郎です。6月14日、15日の田植えイベントで植えられた苗も順調に育ち、絵柄もはっきりしてきました。

ぜひ、行田蓮の鑑賞と合わせて「行田タワー」から見る大迫力の田んぼアート作品をお楽しみください。



田植え後の様子(6月15日撮影)

古代蓮の里市民無料駐車券について

市民無料駐車券(古代蓮の里駐車場有料期間中に市民が無料で駐車場を利用できるもの)は自治会を通じて6月上旬ごろに全戸配布をしています。自治会未加入の方や紛失された方には市役所総合窓口または都市計画課(前谷1-1)で配布しています(本人確認書類が必要です)。

▶問い合わせ 都市計画課 ☎550-1550

色濃く美しいピンクの花を咲かせる行田蓮。
その一生は短く、たったの4日間です。

行田蓮の一生

1日目



開花初日は午前6時ごろから花卉が開き、3～4cmほど開いた後、8時ごろには閉じ始め、つぼみの状態に戻ります。

2日目



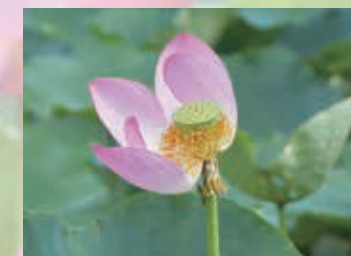
早朝から咲き始め、午前7時～9時ごろに満開になります。
花はもっとも美しいときを迎え、優しい香りが漂います。そしてまた、つぼみの状態に戻ります。

3日目



2日目と同じ経過をたどり、最大に開きます。昼ごろには閉じ始めますが、閉じかけたまま夜を迎えます。

4日目



7時ごろには完全に開きます。
早いものでは8時ごろから散り始め、昼には全ての花卉が散ります。そして翌年の発芽に備えて、地下茎に栄養を蓄えます。



古代蓮会館「古代蓮ふれあいシアター」では、「四季 古代蓮の里」をテーマに、四季折々の園内の様子や蓮の発芽から一年の様子、蓮の花の開花から4日目までの様子などを大型スクリーンに映写した、色鮮やかな4K映像で見ることができます。

過去の行田蓮の様子などをYouTube「ぎょうだ動画チャンネル」で公開しています。



蓮の開花期・田んぼアート期の駐車場有料期間および古代蓮会館の営業時間

	6月21日(土) ～8月3日(日)	8月4日(月) ～8月31日(日)	9月1日(月) ～10月31日(金)
駐車場有料時間 【駐車料金】 普通自動車 500円 中・大型自動車 1,500円	午前5時～午後3時	午前8時～午後3時	午前9時～午後3時
古代蓮会館の営業時間 【入館料】 大人 400円 小・中学生 200円	[平日] 午前7時～午後4時30分 (受付は午後4時まで) [土日祝] 午前7時～午後6時30分 (受付は午後6時まで)	[平日] 午前7時～午後4時30分 (受付は午後4時まで) [土日祝および8月13日(水)～15日(金)] 午前7時～午後6時30分 (受付は午後6時まで)	午前9時～午後4時30分 (受付は午後4時まで) 【休館日】 月曜日(祝日の場合は営業)、 祝日の翌日(土・日曜日の場合は営業)